



令和二年度

くすのき



～高道小学校だより～

No. 8

運動場のくすのき

学校教育目標

郷土に誇りをもち

夢に向かって挑戦する児童の育成

高道小ホームページもご覧ください。
<https://es.higo.ed.jp/takamiti/>

令和2年10月8日 文責 上田

●高道小が輝いた日

思い出深い“運動会”

27日（日）の運動会は大変お世話になりました。朝から秋晴れの高い空が広がりいい運動会になりました。うな予感がしていましたが、果たしてその通りとなりました。



開会式のあいさつでも述べさせてもらいましたが、今年はいろいろな制限があったにも関わらず、児童たちは懸命に走り、踊り、舞ってくれました。午前中のみの実施で物足りなさやできないことへの悔しさもあったはずですが、そういうことにこだわらず、できることに集中して前向きに努力するという姿には、心打たれる思いがしました。その雰囲気を作ってくれたのは、今までなく最高学年の6年生だと思います。もちろん、後輩たちもよくついて行ってくれたと思います。

観覧席に目をやると、どなたもマスクを着用されているし、適宜距離もとつていただいていました。また、家族の出番が終わると場所を譲っていただく様子もよくわかりました。ご観覧の皆様からもこの運動会を成功させようという温かい支援の気持ちがよく伝わり有り難く思いました。

その他にも、勝負はついているように見える競走でも最後まで走り抜ける姿、痛みをこらえて踊る姿、転んでしまった子に寄り添う姿などなど「高道の心」が本部席からもよく見えうれしい限りでした。赤白の争いでは赤が勝利しましたが、両団の頑張りと支え合いが基盤となって運動会を立派なものに仕上げたのだと思います。赤団の団長さん、白団の団長さんもご苦労様でした。そして児童のみなさんよく頑張りました。ありがとうございました。

●6年生保護者の皆さんによるサプライズ！

6年生の保護者の皆さんが、解散式の後に集合されて、サプライズで6年生に向けて歌を歌ってくださいました。コロナ禍で様々な制限がある中でも、前向きに取り組んでいる児童たちに「何かしてあげたい！」という熱い思いから企画されたものと聞いています。「君に捧げる応援歌」という歌でしたが、様々な逆風にも負けないで逞しく生きてほしいという熱い思いが伝わりました。心温まるサプライズをありがとうございました。



●PTA美化作業は

お世話になりました。

運動会に先立って9月13日（日）に実施されましたPTA美化作業は大変お世話になりました。私たちもなるべく草刈り等ができる範囲で行い環境整備には努めておりますが、何しろ敷地が広いので、なかなか全体的に仕上げることはできません。毎回のことですが、たくさんの皆さんに早朝から集まっていただき見違えるほどすっきりと美しくなりました。ありがとうございました。



作業が終わってからも、PTA執行部の皆さんは残って児童が走るコース内の除草や整地をされていました。これにはショベルカーでご協力いただいた保護者の方もおられ、予想以上の早さと美しい仕上がりでした。

皆々様のご協力に改めて感謝申し上げます。

●浜田地区よりテントを貸していただきました。

今年の運動会はコロナ禍で様々な工夫が必要でした。応援する児童にも広いスペースが必要となりテントが不足する状況になりましたが、浜田地区より2張り貸していただきました。真新しいテントをありがとうございました。



●みんなで気持ちの切り替えを

私も子供のころ、大きな行事が終わると担任の先生や親から「気持ちの切り替えが大事」といい聞かされました。せっかく頑張ったのだから、それが日常に生かされることが何より大事です。学習態度、生活態度が運動会前よりもレベルアップして初めて成果が上がったということだと思います。保護者の皆さんからも慰労の言葉とともに、切り替えの大切さを話していただければと思います。

●コロナウイルス感染症リスクレベル「2」から「3」へ

最近発生したクラスターを受け、再び熊本県のリスクレベルが1段階上がりました。学校としても、なるべく児童への教育活動を充実させながら、引き続き感染予防に努めます。ご協力をよろしくお願いします。